

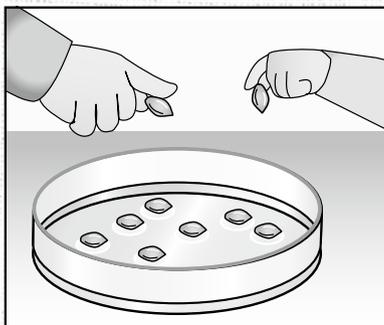
# 1 芽出し

白い芽（鞘葉）が1mmくらい  
見えたら種まきできるよ!



シャーレなどの浅い容器ようきに種もみがひたるくらいのの水を入れます。水にひたした種もみは、室内のあたたかい場所におきましょう。

種もみに酸素さんそがじゅうぶんに行きわたるよう、水は毎日かとり替えます。

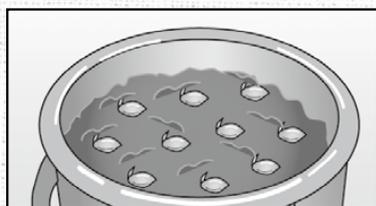


# 2 種まき

種もみをまいた日をお名前シールにメモしてね  
※種もみをスズメに食べられないように、葉が5cmくらいのびるまで  
ざるをかぶせます。



水とよく混ぜて泥まどろになった土を入れたバケツに、表面に水がたまらないくらいのの水を入れます。少し離して種もみをまき、深さ6~7mm（種もみふたつ分）ほど指で押し込み、土をかぶせます。土が乾いたら、土の表面おが湿るくらいに水をまきます。



土を作る時にセットの肥料を1つのバケツあたり1袋入れます。

# 3 苗の移し替え

稲の背が高くなって倒れそうな場合は、支柱を用意しましょう。



葉が3~4枚にふえたら根ごとやさしく苗をぬき、茎が太く育ちのよい苗を4~5本にまとめ、バケツの中心に、2~3cmの深さに植えます。そこに水を1cmの深さに張って、根付いたら5cmの深さで水を張ります。

苗を移し替えた後から茎が増えていきます。このような稲の枝分かれを「分げつ」といいます。

